

令和4年度 学生による地域フィールドワーク研究助成事業  
研究 成 果 報 告 書

- ・機関及び学部、学科等名  
高岡法科大学 法学部 法学科
- ・所属ゼミ  
専門演習Ⅰ及び専門演習Ⅱ 西尾ゼミ
- ・指導教員  
高岡法科大学法学部法学科 教授 西尾 憲子
- ・代表学生  
佐野 聖弥(4年生)
- ・参加学生  
専門演習Ⅱ(4年生):大野 純太  
専門演習Ⅰ(3年生):上田 匠, 佐伯 嶺, 西平 海人, 皆戸 裕夏, 森 匡史, 山下 究人

【研究題目】

\*フィールドワーク研究併用型法学教育

実学的法学教育を通して、地域の歴史や魅力の理解を深め、教育的かつ歴史的資源を有効活用し、富山県に関する情報発信等につながる研究

\*研究分野(G)その他の活性化(地域の魅力の情報発信、国際交流など)

1. 課題解決策の要約

富山県の魅力として情報発信されている内容において、従来、いわゆる観光資源としての自然環境や温泉などの天然資源、さらに海の幸や山の幸などの食文化が中心となっている。また、対象についても、県外や国外からのいわゆる観光客を中心としている。

本フィールドワーク研究では、富山県にある大学において法学を学ぶ学生たちが、実学的法学教育を通して、富山県の持つ教育的かつ歴史的資源に対する理解を深める研究を行えた。県内のみでなく、県外の高等教育機関において法学を学ぶ学生たちにとって、このようなフィールドワーク研究の活動を行うことにより、法学の実学的学習と併せて、富山県の知られざる魅力を実体験できる経験を得て、今後、社会人として社会活動を進める中で有意義な機会であったと考える。同時に、このような社会資源を有する富山県が、活用して欲しいと提案したい。

2. 調査研究の目的

大学において法学を学ぶ学生が、必ず最初に学ぶ私法の大原則である所有権絶対の原則について、富山県で起きた事例いわゆる宇奈月温泉事件(宇奈月温泉木管事件)は、大審院判決により、この原則に例外があることを示し、民法改正につながった。そして、何よりもこの事件は富山県で起きた事例であり、現在大学において法学を学んでいる学生たちだけでなく、かつて学んだ者にとっても、大審院時代のたいへん古い判例でありながら世代を超

えて大変著名な判例である。この判例を通して、実学として法律学を学ぶことを目的とする。

さらに、参加した学生たちが、このフィールドワーク研究を行うことにより、地域の特性を学び、地域への理解を深め、地域における課題発見力を身につけ、自ら考えて行動できるようになることを目的とする。

### 3. 調査研究の内容

本フィールドワーク研究の前提とする法学教育のうち、講義における民法総則で学習した所有権絶対の法則について改めて学び直しながら、大審院判決いわゆる宇奈月温泉事件の判例について、特に、事件の概要を整理し、その争点と判決内容の理解を確認した。

この法学教育の講義における学びを実学として身につけるため、フィールドワーク研究を行う。研究対象とする地域は、立山連峰など標高の高い山に囲まれた北陸という富山県の地域性を含めた宇奈月温泉峡谷を中心とする。大審院判例当時の状況については、歴史資料館資料に基づいて検討し、現在における宇奈月温泉峡谷の周辺環境については、実地見学を行った。

#### (1) 判例研究

参加学生たちは、専門演習(西尾ゼミ)に所属する3年生及び4年生であるので、1年時に民法総則で学んだ妨害排除請求事件(宇奈月温泉事件)に関する法解釈などについて、改めて整理しなおした。今回のフィールドワーク研究のため、事実の概要、とりわけ宇奈月温泉事件が発生した事件当時の宇奈月温泉の様子や時代背景、本件事案の当該現場の状況、事件当事者の関係などについて整理した。そして、判決内容の理解を確認した。

#### (2) 実地研修

法学教育を実学として身につけるためのフィールドワーク研究であるため、判例研究において整理した事件当時の宇奈月温泉の様子や時代背景など、宇奈月温泉及び黒部峡谷の地域特性を調査した。

①判例の事件現場におけるフィールドワーク研究として、宇奈月峡谷の現状と歴史を知るため、黒部市歴史民俗資料館(うなづき友学館)を訪問した。

黒部市歴史民俗資料館では、黒部市の地域特性を歴史とともに紹介するDVD「黒部の流れと宇奈月」を見て、黒部川扇状地とそこに関わる人々の自然と生活を中心に、黒部市の歴史や民俗について紹介されていた。これにより、江戸時代における黒部峡谷が天然資源の宝庫として大切に保護されていたこと、さらにこの資源の流出に関してかなり厳重な警戒が行われていたことなども理解できた。また、富山県黒部市の黒部川にかかる愛本刳橋について、加賀藩をはじめ大聖寺藩、富山藩の参勤交代の行列が黒部川の氾濫等により困難を極めていたことから、兩岸から山稜が迫る川幅が狭い地点に加賀藩が江戸時代前期にかけた橋であること、多くの文人墨客等の旅人が黒部川を渡る北国街道の上街道としてこの橋を往来し、愛本刳橋の景観が絵画や文章などで文人たちに賞賛されていることなどを学んだ。なお、山口県岩国市の錦川にかかる錦帯橋や山梨県大月市の桂川にかかる猿橋とともにその姿や構造から日本三奇橋と呼ばれていることを知り、黒部市の歴史と地域特性とともにその

魅力を知った。

また、宇奈月温泉の歴史について多くの資料が展示されていた。江戸時代には地域においては多くの温泉が湧出していること、その優れた効能などについても知られていたが、この地域を管理監督していた加賀藩が強固な警備を行っていたことから、すべての者が共有できる状況にはなかったことがわかった。宇奈月温泉の歴史についても、当資料館による歴史資料集が数多く発行されており、この資料に基づき、大正時代に黒部川の電源開発を進める拠点として温泉郷としての整備が始まったこと、流域が開発されていく中で、源泉とする黒薙温泉からその湯を運び、宇奈月温泉として発展した歴史などについて理解を深めることができた。なお、源泉の黒薙温泉からその湯を運んだ引湯管木製レプリカが展示されており、宇奈月温泉事件当時の木管についても紹介されていた。温泉の湯を運ぶ木製の引湯管を利用することにより、温泉を温かいまま運ぶことができるようになったことも資料集から学ぶことができた。



左写真: 黒部市歴史民俗資料館ホームページより引用

<https://www.city.kurobe.toyama.jp/event/detail.aspx?servno=13168>)



上記写真3点は、現在の黒部市歴史民俗資料館における展示を許可を得て撮影したものであり、常設展示されていない四角い木管レプリカも搬出して撮影したものである。

さらに、黒部市歴史民俗資料館では、平成29年度「宇奈月温泉事件を中心に」をテーマとして春の特別展示が開催されていた。この特別展示では、歴史講座が開講され、特別展示と歴史講座に関する当時の資料には、宇奈月温泉事件を解説する資料も多く展示されており、以下の写真は、その一部について許可を得て撮影したものである。





当時の現場については、宇奈月ダムに沈んでいるため、現在設置されている「宇奈月温泉木管事件碑」を見学した。



源泉である黒薙温泉から温泉を運んでいた引湯管(木管)が通っていたであろうと思われる石碑周辺の現在における斜面の様子を見て考えることができた。



また、上左写真では、現在も源泉から湯を運ぶ引湯管パイプが、溪谷の斜面を通っている様子も確認できる。上右写真は、展望ひろば駐車場の山側斜面を通る引湯管パイプが通っていることを確認できた。なお、源泉である黒薙温泉については、黒薙温泉旅館ホームページを参照したが、実地研修として訪問した宇奈月温泉街にある黒薙温泉旅館案内所において、湯の華ギャラリーとして木製の引湯管が展示されていた。

#### 4. 調査研究の成果

法学教育について、一般的に法令と判例その解釈や学説などを学ぶものと解されていると考える。富山県で法律を学ぶ大学生であるからこそできるフィールドワーク研究を通じて、事件の具体的な事実とその背景等により、自らが体験して見て学び感じ取ることで、例えば、「所有権絶対の原則」、「妨害排除請求権」、「権利の濫用」といった法律用語を覚える、ある

いは、法令解釈や判例研究を机上で行うだけないということを理解できたと考える。

法律を学び理解することとは、社会で発生している問題について、何が問題であるのかを発見し、その問題の本質を考え理解したうえで、解決策を検討するためであり、判断基準としての法律は、社会において常識的であり、誰しもが理解できるルールでなければならないことを学ぶ法学教育として、今回のフィールドワーク研究は、参加した学生にとって有意義かつ重要な機会であったと考える。

そして、同時に、フィールドワーク研究に参加した学生は、地域の特性を学び、地域の特性を学ぶことによって地域への理解を進めることにつながると考える。地域への理解を進めることによって地域貢献を意識的・自覚的・自立的に行うことにつながると考える。また、宇奈月温泉峡谷は、国内外で人気のある観光エリアとして有名である。宇奈月温泉峡谷について、単なる観光地としてだけでなく、県内外から大学で学ぶために富山県に暮らす学生たちへ、歴史的かつ学習資源として大きな価値を持つ地域であり、その魅力発信にもつながると考える。

## 5. 調査研究に基づく提言

法律は、社会を形成する人間すべてに共通しており、相互に関係しあうものであり、法学部で学ぶことだけを内容とせず、目的とするものではないと考える。特に、社会の中で生活する私たちにとって、所有物や財産権という法律用語としてではなく、経済活動をしていると意識せずとも当たり前のもんとしていと思う。実生活のなかでの活動や経験を通して学ぶことができるのが、法律を学ぶことであると考え。単なる観光資源だけではなく、学ぶ機会と場所としての一つに挙げられると思われる。富山県で学ぶ大学生だからこそ、「学ぶ場所と機会の提供」ができると考える。さらに、富山県の大学で学んだ経験を経て社会で活躍するにあたり、「富山県を知る機会」を得て、その「魅力の発見・再発見」へ導くことができると考える。

## 6. 課題解決策の自己評価

宇奈月温泉は 2023 年開湯 100 周年を迎えている。これまでの宇奈月温泉や宇奈月溪谷の歴史を見ても平穏な発展ではなかったことを学び、いま世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により社会情勢の大きな変化を受けて新しい行動様式の中でも、また今後の発展に向けて歩みを進めている。これには、まず富山県で学ぶ大学生たちが、自分が暮らす地域の歴史や特性を理解することで、地域に起きていることや問題点を知り、その課題解決策を提案できるようにするための経験が提供できたフィールドワーク研究になったと思う。

### 参照資料

黒部・宇奈月温泉観光局 公式サイト 黒部めぐり

<https://www.kurobe-unazuki.jp/> (2023 年1月 31 日参照)

黒部市歴史民俗資料館 うなづき友学館

<https://www.city.kurobe.toyama.jp/contents/yuugakukan/index.html> (2023 年1月 31 日参照)

黒薙温泉旅館(「くろなぎ便り」)

<https://www.kuronagi.jp/info/> (2023年1月31日参照)  
宇奈月ダム 情報資料館「大夢来館(だむこんかん)」  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/guide/toyama/unazuki.html> (2023年1月31日参照)

北日本新聞 2023(令和5)年1月4日朝刊 6面  
「開湯100周年 宇奈月飛躍の時 幾多の苦難乗り越え 記念事業春から展開」  
富澤一弘・若林秀行「明治大正期に於ける富山県宇奈月温泉の研究(1)―温泉関連史料及び新聞史料の検討を中心に―」『高崎経済大学論集』48巻3号(2006年)47～59頁  
[http://www1.tcue.ac.jp/home1/k-gakkai/ronsyuu/ronsyuukeisai/48\\_3/tomizawawakabayashi.pdf](http://www1.tcue.ac.jp/home1/k-gakkai/ronsyuu/ronsyuukeisai/48_3/tomizawawakabayashi.pdf) (2023年1月31日参照)  
富澤一弘・若林秀行「明治大正期に於ける富山県宇奈月温泉の研究(2)―温泉関連史料及び新聞史料の検討を中心に―」『高崎経済大学論集』49巻1号(2006年)29～41頁  
[http://www1.tcue.ac.jp/home1/k-gakkai/ronsyuu/ronsyuukeisai/49\\_1/tomizawawakabayashi.pdf](http://www1.tcue.ac.jp/home1/k-gakkai/ronsyuu/ronsyuukeisai/49_1/tomizawawakabayashi.pdf) (2023年1月31日参照)  
牧あけり, 沢畑敏洋, 伊藤涼祐, 松井大輔「大正期以降の宇奈月温泉における黒部川沿岸地区の景観形成過程」『日本建築学会技術報告集』24巻58号(2018年)1217～1220頁  
<https://doi.org/10.3130/aijt.24.1217> (2023年1月31日参照)  
松井大輔・岡井有佳「黒部市宇奈月温泉地区における大火前後の土地利用の変容」『歴史都市防災論文集』9号(2015年)203～206頁  
<https://core.ac.uk/download/pdf/60547604.pdf> (2023年1月31日参照)

宇奈月町歴史民俗資料館 平成11年 第7回 特別展  
宇奈月町教育委員会・宇奈月町歴史民俗資料館『宇奈月の温泉開発』(平成11年)  
うなづき友学館 開館10周年記念 第10回特別展  
宇奈月町教育委員会・宇奈月町歴史民俗資料館『黒部川のあゆみ 人と自然 そのかわり』(平成14年)  
宇奈月温泉 開湯80周年記念 第11回 特別展  
宇奈月町教育委員会・宇奈月町歴史民俗資料館『黒部川のあゆみ 峡谷観光と電源・温泉開発』(平成15年)  
黒部市歴史民俗資料館 第5回 特別展  
黒部市教育委員会・黒部市歴史民俗資料館『黒部の鉄道史～電源開発の軌跡～』(平成22年)  
黒部市歴史民俗資料館 第9回 特別展 開湯90周年  
黒部市教育委員会・黒部市歴史民俗資料館『開湯90周年 宇奈月温泉の歴史を辿る』(平成25年)  
黒部市歴史民俗資料館 第11回 特別展  
黒部市教育委員会・黒部市歴史民俗資料館『黒部峡谷探検 吉沢庄作と冠松次郎』(平成27年)